

たこさんぽ 南部編

多古町は、豊かな自然と歴史に彩られたまち。

ここで紹介するのは、「道の駅多古」をスタートし、栗山川沿いを歩いて歴史の面影を残す島地区へ。河畔の景観と歴史を巡るコースです。車に気をつけて歩きましょう。

あじさい遊歩道・桜並木

多古大橋下流の遊歩道はガクアジサイがメイン。オーナー制の河津桜のプレートには思い思いのメッセージが添えられており、人々の心に思いを馳せながら、散歩ができます。



ゴール

①道の駅多古

徒歩 40分

⑩丸山神社

徒歩 10分

⑨大炊堤

徒歩 15分

⑧さくら公園
パークゴルフ場

徒歩 18分

⑦白幡神社

徒歩 10分

⑥潮神社

徒歩 15分

⑤妙立寺

徒歩 2分

④大立寺

徒歩 15分

③正覚寺

徒歩 3分

徒歩 20分

全行程

約3時間
約11km

※距離・時間は目安としてご利用下さい。
(見学や休憩時間は含んでおりません。)

スタート

①道の駅多古

徒歩 20分

②志摩城跡

徒歩 3分

ここで丸木舟が出土したよ!



全長7m45cmの大きな舟がほぼ原形のまま出土し、縄文時代前期末(約5,500年前)に作られた最古級の舟であることがわかりました。(コミュニティプラザに展示してあります)

栗山川篠本堰

洪水対策と農業用水確保のため造られたこの堰は、5門の鋼製ローラーゲート。江戸から明治にかけては、上流地域との水争いもあり、お百姓さんにとって水がいかに大切であったかが、殉難碑からも見て取れます。それゆえ、この地域には農業用水を均等に分配する『円筒分水』と呼ばれる装置もあります。



カワセミ

「栗山川が僕のお気に入りの場所です」



多古米

多古の耕地整理は全国2番目(明治34~43年)に行われ、日本の米づくり100選にも選ばれています。ミネラル分が多い粘土質の土壌で育まれる多古米は食味日本一になったこともあります。「寿司はシャリに六分の魂がある」と言われますが、多古米は寿司職人にも好まれ、シンガポールの寿司店にも輸出されています。



横堀迷路

冬は北風を通さず、夏は涼しい。防火、防音にも優れた横の生垣。入り組んだ家々を囲む横堀はまさに迷路のよう。これには島地区正覚寺に伝わる先人の悲しい歴史があったと言われています。



道の駅多古

スタート
ゴール ①

あじさい遊歩道

多古大橋

正覚寺

ライスセンター

親水公園

桜並木

志摩城跡

大川場湿地帯

篠本堰

丸山神社

妙立寺

大立寺

円筒分水

多古焼工房

寺田ぶどう園
佐瀬ぶどう園

潮神社

白幡神社

大炊堤

さくら公園

ばちばち線(県道八日市場八街線)



スタート

① 道の駅多古あじさい館

Michinoeki Tako Rord Station

スタート地点は道の駅あじさい館です。この散歩コースはちょっと距離が長いので、郷土の味、多古米を使ったお弁当やおにぎりを持って出発しましょう。

■営業時間：9:00～18:00

(但し4月1日～8月31日は19:00まで)

※駐車場、トイレは24時間ご利用可能です。

■住所：千葉県香取郡多古町多古 1069-1

☎：0479-79-3456



② 志摩城跡

Shima Castle Ruins

平安時代末、多古は桓武平氏の流れをくむ千葉氏の荘園「千田荘」の中心でした。千葉常胤は房総に逃れた源頼朝に助力し、鎌倉幕府創設に大きな役割を果たしたことにより、頼朝から篤い信頼を得て下総の守護に任じられました。1455年(室町時代中期)、亥鼻城主千葉胤直は、足利幕府の関東支所というべき鎌倉府において重要な立場にありましたが、古河公方の足利成氏と関東管領の上杉憲忠との争いにまきこまれていました。この内紛で、胤直は母の実家上杉方に、叔父で幕府城主の

馬加康胤は古河公方側に味方をしたことから、千葉氏一族は分裂し、骨肉の争いを始めることになったのです。千葉家の支族で臼井城主の原胤房と組んだ馬加康胤は、亥鼻城に奇襲をかけ、胤直は志摩(島)城に、嫡男の胤宣は多古城へと逃れます。しかし馬加・原の両軍の攻撃は激しく、ついに多古城、志摩城とも落城。胤宣は自刃し、東禅寺に逃れた胤直もやがて敵方に包囲され自害しました。ときに胤直42歳、胤宣は弱冠15歳の若武者であったといえます。ここに中世の名家千葉宗家は終焉を迎えたのです。

開拓により遺構はありませんが、島集落の東端部の台地が主郭とみられています。



⑥⑦ 白幡神社と潮神社

Shirahata-jinja shrine & Ushio-jinja shrine

牛尾地区は上郷(潮神社)と下郷(白幡神社)に分かれており、それぞれに鎮守が祀られています。11月に行われる「蛇祭り」は、200年もの歴史がある神事で多古町指定無形民俗文化財になっています。

それぞれの神社の氏子が藁で作った8メートルもある2匹の大蛇は、集落を前後左右に大暴れしながら各鎮守をめざします。『天下泰平』と『五穀豊穡』を祈願したこの蛇は鳥居に巻かれ、また1年間、人々の生活を見守ります。



秋には直売所で美味しいぶどうをどうぞ!



⑤ 正圓山妙立寺

Myoryu-ji temple

元禄2年(1689年)創立され、幕末から近年まで幼児の夜泣きや、疳の虫封じにご利益があると、多くの方が訪れました。時代を忘れさせる鮮やかな色彩の絵馬や堂内の天井絵に信仰の深さを感じられます。



④ 法性山大立寺

Dairyu-ji temple

天文23年(1554年)創立、宝永4年(1707年)真言宗から日蓮宗に改宗したお寺で、全国を旅して歩いた松尾芭蕉の句碑があります。

マンホールにも稀種発見!



多古焼工房 (陶芸家：高橋茂晴)

Tako-yaki Workshop



多古で焼くから『多古焼』と名付けられた陶器は、土の風合いと作り手の優しさが感じられる作品ばかり。工房では見学・購入ができます。

☎：0479-76-5048



⑧ さくら公園パークゴルフ場

Sakura park golf course

栗山川に面し、名前のおり桜、紫陽花、菜の花と四季折々の花を愛でながら散歩ができます。コースは、さくらコース約720m、あじさいコース約850m 各18ホール、パー66です。



⑨ 大炊堤

Oi-dam

400年程前、この地を治めていた佐倉城主の土井大炊頭利勝が栗山川の氾濫から村を守るために築いた堤防で、城主の職名が名前となっています。利勝は徳川秀忠政権における老中として絶大な権勢を誇り、公正さを重んじ、その人柄と資質は徳川家臣の中でも抜きん出ていると評されています。

大炊頭：宮中での祭りごとの準備、管理をはじめ、御料地の管理も行ったおったのじゃ。



⑩ 丸山神社 (熊野大神)

Maruyama-jinja shrine

半島型に突き出た山の上に祀られた神社です。この丸山は、千葉県で一番低い山(標高32m)で、登頂にかかる時間は約10分です。

① 道の駅多古

ゴール

ここではお散歩コースの詳しい情報をご紹介します! 歴史遺産にまつわるお話をすることで、より歴史を味わうお散歩コースになります。



お問い合わせ 多古町役場 ☎0479-76-2611(代) 多古町商工会 ☎0479-76-2206